



家書ヤ

SDGsを道内の身近な地域課題に引きつけて考えた学習会

環境や教育など17項目

国連新開発目標

道民目線で議論

札幌

9月の国連総会で採択された2030年までの「持続可能な開発目標(SDGs)」を考える学習会が13日、札幌市北区の北大遠友学舎で開かれた。環境や教育などに関心のある約50人が参加し、世界共通の目標を道民の目線で議論した。SDGsは貧困や飢餓、教育、男女平等、温暖化対

策、生物多様性など17項目の169目標を掲げる。発展途上国だけでなく先進国にもかかわる目標が多い。学習会は、NPO法人さつぽろ自由学校「遊」などの主催。講師のNPO法人開発教育協会(東京)の中村絵乃事務局長は「SDGsは遠い世界の話ではなく、私たちの生活と直結する」と強調し、日本NPOセンター(同)の今田克司常務理事は「SDGsは法

的拘束力のない努力目標なので、達成には政府の取り組みを監視する市民の役割が問われる」と指摘した。参加者は九つのテーブルごとに最近関心のあること

を書き出し、それがSDGsのどの項目に当てはまるかなどを話し合った。国際的なテロや難民問題から道内の異常気象、教育格差などまでさまざまな話題が出

たが、17項目に含まれていない、あるいは複数の項目にまたがるものが多いといった意見も。「身近な課題を解決することで世界の目標達成に貢献したい」と決意を語る参加者もいた。(関口裕士)

道新社会福祉振興基金

(14日)◇札幌市▽中央区北8西19、藤栄システムエンジニアリング(藤門雅史社長)は、恵まれない子どもたちのために役立てて5万円を寄付した。

中高生の悩み 大学生に相談

■17日に札幌で交流

札幌市男女共同参画センターは17日午後5時半から、札幌市北区北8西3の札幌エルプラザ2階会議室で、大学生が中高生の悩み相談に乗る「たまりんば」を開く。

思春期の悩みを聞く「ピア・サポート」の研修を受けた大学生が参加し、ゲームしたり、お菓子を食べたりしながら中高生と交流する。中高生の参加は自由。無料。参加希望者は当日直接会場へ。問い合わせは男女共同参画センター☎011・728・1255へ。

当番弁護士

札幌弁護士会

札幌弁護士会は、刑事事件で逮捕された容疑者やその家族などから要請を受けると、法的助言のため当番弁護士を派遣します。石狩、空知、後志、胆振、日高各管内が対象で、初回費用は無料。終日、同会刑事弁護センター☎011・272・1010で受け付けています。制度の概要はホームページ(<http://www.satsuben.or.jp/>)に掲載しています。

無料相談はほかに、犯罪被害者が対象の「犯罪被害者弁護ライン」☎011・251・7822(毎週月曜午前10時30分～午後0時30分、水曜午後5～7時)、子供や保護者などが対象の「子どもの権利110番」☎011・281・5110(毎週木曜午後4～6時)があります。